

政策番号	15	政策分野	地域福祉
------	----	------	------

基本方針	住民が主体的に地域福祉活動に取り組むことを通して、住民自治の機能をさらに高めるとともに、公的な福祉制度・施策を提供する行政や公共の団体が密接に連携しともに実践する協働の取組の展開を図ることにより、地域のなかでひとりひとりが自己決定に基づいて自立した生活を実現する。これらの取組を原動力として「地域の福祉力」をつむぎ、すべての住民の基本的人権が尊重され、だれもがくらしやすい地域の実現をめざす。
------	--

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京・地域福祉推進指針
---------------------	------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 29	平成 30	令和元年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	民生委員活動数(件)	225,478	—	e	e	254,674	258,441	274,185	94.3%	e
2	老人福祉員訪問者数(人)	30,042	—	b	a	34,780	34,606	34,780	99.5%	b
				d	d					d

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成29	平成30	令和元
1501	地域の福祉ニーズの把握(2指標)	a	a	a
1502	地域におけるつながりの構築(3指標)	b	a	a
1503	関係者の連携・協働の推進(1指標)	a	a	a
1504	地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり(2指標)	d	d	c
(4施策平均)		b	a	a

政策の客観指標総合評価		平成29	平成30	令和元
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)		c	c	c

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成29	平成30	令和元
1	社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。	c	c	c
2	地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。	c	c	c
3	地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	c	c	c
4	地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。	b	c	c
政策の市民生活実感調査総合評価		c	c	c

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
順位	%	順位	%	順位	%
19	79.1%	19	81.0%	17	79.6%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
【客観指標総合評価】 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・高齢者や子供に関する相談支援、高齢者の交流会や子育てサロンへの参加・運営等の地域福祉活動・自主活動が活性化し、民生委員活動数が昨年と比べて増加した。ただし、各分野の専門支援機関が直接対応するケースが増加しており、目標値（過去最高値）は達成できなかったことなどから、c評価以下となったと考えられる。		平成30年度	C
【市民生活実感調査総合評価】 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・民生委員・児童委員や老人福祉員の活動と関わり合いが少ない市民にとっては制度が認知されにくいことから、全ての設問で「どちらとも言えない」とする回答が最も多くなり、c評価以下となったと考えられる。		平成29年度	C
【総括】 ・民生委員・児童委員や老人福祉員の活動と関わり合いが少ない市民にとっては制度が認知されにくく、市民生活実感調査が低評価となった。一方で、目標値には届いていないものの、「民生委員活動数」が増加し、「老人福祉員訪問者数」が前年度と同水準を維持しており、総合的に判断して、当該政策の目標は、「そこそこ達成されている」と評価できる。			

今後の方向性の検討

＜この政策を構成する施策とその総合評価（客観指標評価＋市民生活実感評価）＞

施策番号	施策名	総合評価		
		平成29	平成30	令和元
1501	地域の福祉ニーズの把握	B	B	B
1502	地域におけるつながりの構築	C	B	B
1503	関係者の連携・協働の推進	B	B	B
1504	地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり	C	C	C

＜今後の方向性＞

①地域の福祉ニーズの把握

・区地域福祉推進委員会による取組の充実・強化、関係者間における主体的に取り組まれている地域活動の共有により、地域福祉ニーズの把握や新たな活動創出を図ることで、ニーズに合わせた福祉サービスの提供を進める。さらに、これらの活動を広く市民に周知することにより、地域福祉活動の普及・啓発を図る。

②地域におけるつながりの構築

・関係団体等のボランティア活動の更なる推進を図るとともに、それらの活動について、広く市民に周知することで、ボランティア活動に参加しやすい機運の醸成を図る。

③関係者の連携・協働の推進

・福祉を必要としている方のニーズに合わせた福祉サービスの提供ができるよう、地域福祉の推進に取り組んでいく。

④地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり

・ボランティア活動や自主的な活動への支援、住民への周知を通じ、地域の福祉活動を通じた防犯・防災活動を活性化する。

政策名	15	地域福祉				
指標名	民生委員活動数（件）					
担当部屋	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	7 4 6－7 7 1 3		
1 指標の説明						
本市民生委員の相談・支援及びその他の活動件数						
2 指標の意味						
自治・協働による地域の福祉力を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
		225,478	—	—		
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	254,674	258,441	3,767件増	274,185	過去5年間の最高値（平成25年度）	94.3%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去5年の活動数) 平成25年度：274,185件 平成26年度：265,575件 平成27年度：263,066件 平成28年度：261,083件 平成29年度：254,674件
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明			
			当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：274,185件（平成25年度） 平均値：263,717件 最低値：254,674件（平成29年度）			
7 評価結果						
平成29		平成30		令和元		
e		e		e		

指標名	老人福祉員訪問者数（人）					
担当部屋	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	7 4 6－7 7 1 3		
1 指標の説明						
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数						
2 指標の意味						
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
		30,042	—	—		
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	34,780	34,606	174人減	34,780	過去5年間の最高値（平成29年度）	99.5%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去5年の指標数値) 平成25年度：33,855人 平成26年度：33,762人 平成27年度：34,752人 平成28年度：34,588人 平成29年度：34,780人
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明			
			過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：34,780人（平成29年度） 平均値：34,347人 最低値：33,762人（平成26年度）			
7 評価結果						
平成29		平成30		令和元		
b		a		b		